

ワーカーズコープながの

よい仕事通信 No.1 2026.3

発行) よい仕事推進委員会

こんにちは 皆さまいかがお過ごしですか😊

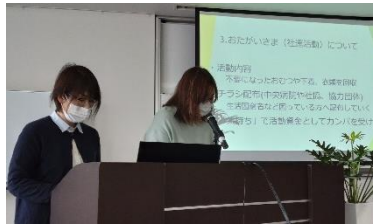
2月28日(土)にワーカーズコープながの4回目のよい仕事集会を安曇野市豊科公民館にて開催しました。参加者は25名。全員の自己紹介と、初めて来賓にワーカーズコープセンター事業団副理事長の川原隆哲さんをお招きしました。4つの現場からのよい仕事の発表と、後半はグループディスカッションを行いました。川原隆哲さんからは、「センター事業団北陸信越事業本部は、5県をまたがっての運営でながのと同じくらいの規模。法律ができる前は、ながのとセンターだけだったが、県内に他にも労協法人が立ち上がっており全国で179、連合会には27くらいが加盟していて広がってきています。センターは経営だけでなく、福祉の部分も大事にした話し合いをしています。ながのは清掃事業が多いですね。自身も10年間清掃の改革を行ってきました。や

る気になれば技術も上がる、人の心の改革だったと思います。」と励ましのあいさつをいただきました。



介護支援センターワーカーズながの(長野市)

田尻佳代子さん 徳竹恵美子さん

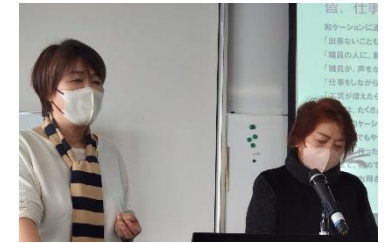


居宅介護支援事業所ワーカーズながのはケアマネジャーの働く職場です。長野市の指定を受けて仕事をしています。介護保険制度は65才以上の方で、要介護認定や難病認定などを受けた方がサービスを利用できますが、実際にサービスを使ってみないとわからないとのことですね。ケアマネジャーはケアプランの作成から様々な支援をしています。迅速な対応の時はとても大変で、独居世帯も多く利用者の層が多様になっています。社会連帯活動「おたがいさま」は、不要になったオムツや下着などの衣類の回収と、生活困窮者など困っている方へ配布し、お気持ちのカンパを受けています。感謝の言葉に励まされます。回収してくださいという人はいるが、業務が忙しいのと、個人の配布先が見当たらず、近くのデイにお渡ししています。どうしたらうまく循環するかが課題です。



就労継続支援B型 和ケーション(木曾町)

森田明美さん 岡村美代子さん



障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業です。雇用契約の就労が困難な方の生産活動の場や居場所の機能があります。健康状態、人権に配慮した支援、「はたらきたい」というニーズや希望を聞いています。これは他の仕事と同じで特に特別なことではなく、誰しも当たり前の生活ができる社会を実現する「ノーマライゼーション」が基本です。和ケーションの作業は、配食弁当の他にグリーンサポート作業ほか自主製品の作製もしています。昨今の就Bははっきりとした二極化が進んでおり「成果」が求められる流れに加速していると感じます。木曾町での就Bは社協と和ケーションだけで、どちらかと言えば社協は「仕事」、和ケーションは「居場所的役割」。やはり皆「仕事がしたい」という願いを持っています。「人生で初めて仕事をしました、うれしい。」と、自分でお金を稼げた喜びを話してくれた方がいました。近々町長懇談をして優先発注などの仕事を視野に入れていきたいと考えています。

飯田事業所(飯田市・下伊那郡)

福澤信男さん 松澤由季さん(一般参加)

2024年にコロナ明け子ども食堂(通算80回目)を再開しました。食堂運営の仲間と松川町社協の「いちごサロン」を見学。子ども食堂をやる上で、ホー

ムページをつくらないといけないと強く感じ、人の繋がりから松澤さんと出会い作成をお願いし、2025年9月に公開に至りました。事業所では、ボールペンの内職など就労準備支援の利用者の体験の場、市田柿の摘果や収穫を仕事にしており、自身も「シニア大学」に入学。仲間や外国籍のメンバーと仕事を拵げ、意欲のある方と多く知り合いに。地域団体との連携で子育て家庭応援フードパントリーや、直近では1月にフードバンク信州、ほほえみのゆめプロジェクトと子ども応援プロジェクトに取り組んだ。

「子ども食堂また行くからね」と町で声をかけられた時はとても嬉しかったです。アイデアや地域の困り事に気づいたらまずは始めてみる、ポジティブな考えを持つ人との繋がり



<https://roukyou-nagano-iida.studio.site/>

長野県労協活用促進協議会モデル事業（長野本部）

川浦和美さん（長野中央病院）

全国5県のうち長野県が選定され、県の協力も得てながのが事務局を担う。労働者協同組合の活用を通じ担い手の確保、多様な働き方が可能となる環境の整備、働きづらさを抱える方の多様な雇用機会の創出を目的とした2024.8～2027.3までの事業です。協議会は現在12団体。はじめ塩対応だった3つの賛同団体も、それぞれが主催している情勢会議やイベントに参加させていただき、セミナーの周知に実際に

足を運んだことで賛同いただけるようになった。セミナーやフォーラムは、リピーター率は25.1%。都合がつかずアーカイブを希望される方もあり、最近は行政職員や議員の参加も多い。協同組合の力、地域に貢献できる働き方だと感じている。これまでのセミナーやフォーラムで、のべ478名の参加、協議会参加12団体、賛同団体3団体。ワーカーズコレクティブリアン（千曲市）ヤマコープ（山ノ内町）楽Luck（東御市）という協同組合が誕生している。今後も地域の課題に向き合いながら、誰もが自分らしく働ける場を協同の力で広げていくために協議会として取り組みを進めます。モデル事業の事務局として多くの団体や地域の方々と関わる中で協同労働の持つ力を実感してきました。清掃の現場と事務局の仕事を行き来する日々は大変なこともありました。その中で「役割が一つでなくても地域に貢献できる働き方がある」という気付きを得ました。皆さんとのつながりや支え合いの姿に私自身も励まされてきました。ここで生まれたつながりをこれからも大切にし地域の協同の輪が広がるよう関わり続けていきたい。



グループワークで出された発言

・Aグループ

よい仕事の見える化、また見えないところにもよい仕事がある。よい仕事とは、持続可能でなければ。経営を我が事に。継続するプロセスがよい仕事に繋がっている。うまく行かないことをどう話し合いによって乗り越えたか→よい仕事生まれる。

・Bグループ

介護保険は皆から徴収している。おたがいさまはながのとしてどう発展させるか、社連活動の充実になる。推進させたい。人生初仕事、お母さんと一緒に旅行がしたいなんて素晴らしい。よい仕事→連携

・Cグループ

こういう場で初めて他の職場の活動を聞いた。地域と繋がって仕事ができる喜び。ノーマライゼーションは初めて聞いた。介護保険について勉強会、労協内で相談窓口をしてほしい。自分の利益でなく皆の利益、新たな視点で考えさせられた集会でした。

・Dグループ

介護保険についてあまり知らなかった。おたがいさまは今後の課題が出てきている。よい仕事集会では違う分野の人の話を聞き、その大切さを学んだ。人に感謝される、利用者の立場に立って仕事ができることはよい仕事だと思う。

鈴木理事長より まとめ

民主主義の神髄は何か。日本人は多数決だが、北欧では議論なのだそう。納得できることが大事とされている。協同労働の働き方。意見反映して、議論した時にどう意思決定するかも大事と感じています。よい仕事集会はとても大切なので、ぜひ毎年開催してほしい。皆さんお疲れさまでした。

